

(3) 持続可能な社会・経済の形成



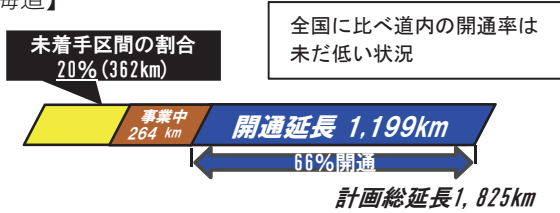
① 高規格道路等ネットワークの形成

北海道では、人流・物流の大半を道路交通に依存しています。経済活動を支え、地域の交流や発展に寄与する高規格道路等の整備を促進します。

■ 高規格道路等の整備促進と機能向上

- ・ 圏域間の交流拡大や地域医療の充実、地域経済の活性化などを図るため、国やNEXCO東日本などと連携し、高規格道路をはじめとする幹線道路の整備を行います。
- ・ 活力ある道民の生活や地域の活性化を支える道路整備を推進します。

【北海道】



【全 国】（北海道を除く）

（旧名称）地域高規格道路を除く



高規格幹線道路の開通率

令和5年4月1日時点

【出典：北海道調べ】

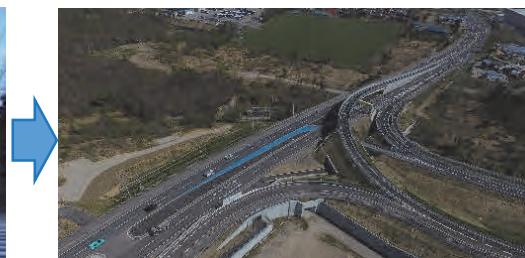
【高規格道路等の整備】



【事業効果】

国道235号の門別町富川交差点は渋滞ポイントになっていたが、日高自動車道が開通したことで、ダブルネットワークが構築され、通過交通の速達性・定時性が向上した。

高規格道路 日高自動車道（日高門別IC～日高厚賀IC間）



【事業効果】

国道36号の大曲交差点における慢性的な交通混雑の軽減を図るため、新たにバイパス道路を整備することで、交通が分散され、通過交通の速達性・定時性が向上した。

道道仁別大曲線（羊ヶ丘通）



【事業効果】

道道鷹栖東神楽線などの旭川市街地における交通混雑を解消するため、新たにバイパス道路を整備することで、交通が分散され、旭川北ICや旭川空港への速達性・定時性が向上した。

高規格道路 旭川東神楽道路（旭川市・東神楽町）